

市政記者クラブ 様

環境局地域環境対策部地域環境対策課
担当課長(環境影響評価・化学物質) 吉開(972-2676)
課長補佐(有害化学物質対策) 大澤(972-2677)

土壌汚染の報告について

下記のとおり、「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」に基づき、土壌汚染の報告がありましたのでお知らせします。

記

- 1 報 告 者 株式会社ENEOS ウイング
- 2 報 告 日 令和 7 年 6 月 20 日
- 3 報告の概要

- (1) 対 象 地 名 株式会社ENEOS ウイング
国道堀田 TS 跡地
- (2) 所 在 地 名古屋市瑞穂区明前町 1 番 2 号
- (3) 対象地の概要 旧ガソリンスタンド（昭和 41 年頃～令和 6 年 9 月まで）
682.52m²（近隣商業地域）



この背景地図等データは、国土地理院ウェブサイト
 の地理院地図を一部編集して使用して
 いる。

(4) 汚 染 状 況

項目※1	汚染物質	基準超えの濃度	基準に対する倍率	基準	超過区画数／調査区画数※2
土壌含有量調査	鉛及びその化合物	280 mg/kg	1.9 倍	150 mg/kg 以下	1／7

※1 土壌含有量は土壌に含まれる汚染物質の量を示します。
 ※2 調査対象地における平面図上で、試料採取によって評価した区画数を示します。

- (5) 対象地の状況
- 対象地は、飛散防止措置等がとられています。

- 4 本市の対応
- 報告者に対し、適切な土壌汚染対策を実施するよう指導を行います。
 「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」に基づく区域の指定、告示などを行う予定です。

<参 考>

基準を超過した物質の毒性について

【鉛及びその化合物】

急性毒性：嘔吐、腹痛、下痢、血圧降下、乏尿、昏睡。可溶性鉛塩の経口致死量は 10 g といわれている。

*10 g は、今回の土壌含有量の汚染物質濃度（280 mg/kg）では、土 36kg に含まれる量になります。

慢性毒性：高濃度の中毒症状は、貧血、消化管の障害、神経系の障害等。血液中鉛濃度が 0.4～0.5 mg/L を超えて長期間暴露された場合に障害がみられる。

発がん性：国際がん研究機関（IARC）は、鉛の無機化合物をグループ 2 A（人に対しておそらく発がん性がある）に分類している。また、鉛そのものをグループ 2 B（人に対して発がん性があるかもしれない）、鉛の有機化合物をグループ 3（人に対する発がん性については分類できない）に分類している。

出典「改訂 4 版水道水質基準ガイドブック」「化学物質ファクトシート（環境省ウェブサイト）」
（下線部分は、名古屋市において挿入しました。）